

ネイチャーセンターだより



カッコウ

英名：Cuckoo 学名：*Cuculus canorus*

春国岱の浜辺を歩いていると、森の中から「カッコウ、カッコウ」と、のどかな声が聞こえてきます。声のするほうを探してみると、木のこずえなどに止まって鳴いている姿が見られるかもしれません。

カッコウは托卵(たくらん)と言って、ノビタキやウグイスなど他の鳥の巣に卵を産んで育ててもらふ習性で有名です。

7月のイベント

風蓮湖・春国岱フィールド講座 もっと知ろう！ラムサール

ラムサール条約についての解説だけでなく、地域との関わりが深いワイズユースの考えや、条約湿地の管理における住民参加、条約における普及啓発活動などラムサール条約に登録された風蓮湖・春国岱の保全や活用を考えるヒントとなるお話を釧路公立大学教授小林聡史氏に伺います。

- ・日時：7月8日(日) 13:00～16:00
- ・対象：高校生以上40名
- ・申込：7月3日(火)まで
- ・持ち物：保険代、資料代100円、動きやすい服装

お申し込み・お問い合わせは、ネイチャーセンターまで(0153-25-3047)

フィールドボランティアの活動報告

春国岱風倒木調査 5 / 27

春国岱には、海岸沿いのヒバリコース・ハマナスコースと、森の中を歩くキタキツネコース・アカエゾマツコースの全部で4つの散策コースがあります。しかし、昨年の10月8日の低気圧による高潮と強風により、このうち、森の中の2コースは今も立ち入り禁止となっています。

あれから半年、春国岱のその後の様子を確認するために、5月27日(日)にフィールドボランティアの皆さんと調査をおこないました。

今回の調査は

春国岱の被害状況を把握すること

植生変化を把握するため、定点撮影をおこなうことを目的としておこないました。



アカエゾマツコースの橋

森の中は、アカエゾマツやトドマツといった針葉樹が倒れ、木道をふさいでいるところがあちこちあり、あらためて、昨年の低気圧の凄さと自然の脅威を感じました。

春国岱は長い年月をかけて砂が堆積した砂州上を土壌が薄く覆っているため、木の根は浅く倒れやすくなっています。特に、針葉樹は秋でも葉をつけているので風を受けやすく、広葉樹に比べて被害が大きくなったと考えられています。

立ち入り禁止になってから初めて春国岱の森に入ったボランティアの方からは、予想超えたの被害大きさに驚き、また、デリケートな土地に成り立っている森だということを改めて実感されたようでした。

今後、植生がどう変化していくのかを調べるため、継続的に定点での撮影をおこない、調査を続けていく予定です。



アカエゾマツコースの様子

コミヤマカタバミ



春国岱の森で、ひっそりと咲いていました。

あなたも風蓮湖・春国岱で活動してみませんか ~フィールドボランティア募集~

ラムサール条約登録湿地で活動してみませんか？ ネイチャーセンターでは、フィールドボランティアを募集しています。ご興味のある方はネイチャーセンターのレンジャーにお問い合わせください。どんな活動をしているか見学してみたい方は、電話で連絡いただければ活動日をご案内します。

7月の自然情報

春国岱の森の中に行く、キタキツネ・アカエゾマツコースは現在通行止めです。
 浜辺に行く、ヒバリ・ハマナスコースとネイチャーセンター横の小鳥の小道が散策できます。
 センターでは、双眼鏡の無料貸し出しをしていますので、お気軽にご利用ください。



観察路がぬかるむ場所があります
 十分注意してください

～小鳥の小道～

センダイムシクイ

「チヨチヨビー」、「チチヨビー」と鳴き、「焼酎一杯、グイー」と聞きなされます。
 木の葉の茂った林にいることが多く、枝や葉の裏などにつく昆虫やクモなどを食べています。



～ヒバリコース

ハマエンドウ

浜辺に生育し、実がエンドウに似ていることから、ハマエンドウと名づけられました。
 6月くらいから、春国岱に浜辺で赤紫色の花をつけます。
 ハマエンドウの種を水で煎じたものは、リュウマチの薬として使われています。



～ハマナスコース～

オオジュリン

黒い頭と顔の白い線が特徴の鳥ですが、これはオスだけで、メスは茶色い地味な色をしています。
 オスはヨシの先や杭の上などにとまって、「ジュッ、チーン」などとさえずります。



～ハマナスコース～

ハマナス

6月中旬～7月中旬くらいにピンク色の大きな花を咲かせます。
 バラの仲間、匂いをかぐと甘いいい香りがします。
 また、8月下旬～9月にかけて、赤い果実を実らせます。果実は果実酒などに利用されています。

ネイチャーセンター日記

誰の落とし物？

先日、ネイチャーセンターにいらっしゃったお客様から、「ここでは、魚を置いて餌付けでもしているの？」と聞かれました。はて？何のことだろう？と思い、お話を伺ってみると、観察路に大きな魚が落ちていたとのこと。

さっそく現場に行ってみると、確かに1mくらいはある魚が！！これは、お客様もびっくりされるはず。お客様の話ですと、1回目に通ったときはなかったのに帰ってきたら置いてあったとのことなので、どうやら誰かが落としたようです。魚の大きさからすると、おそらくオジロワシかな…？

それにしても、こんな大物を落としてしまうなんて、もったいない！きっと、これを落とした持ち主も後悔しているのではないかと…と思わず想像を膨らませてしまいました。



メール配信のお願い

郵送料削減と省資源を目指し、ネイチャーセンターだよりをメール（PDF形式）で配信しています。ご協力下さる方は下記メールアドレスまで、ご自身のアドレスをお知らせ下さい。ご協力お願い致します。（郵送ご希望の方には今後もそのまま郵送いたします。）

連絡先：nemu_nc@marimo.or.jp

また、ネイチャーセンターだよりは、ホームページ上でもPDF形式でご覧いただけます。

ホームページ：http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

団体向けプログラムのご案内

野外解説 （1～2時間 / 10～20名）

自然のお話 （25分 / 10～45名）

自然のクイズラリー （1時間 / 10～50名）

タンチョウのヒミツに迫るタンチョウゲーム （0.5～2時間 / 10～20名）

事前申込みが必要です。詳細はネイチャーセンターまでお問い合わせください。

などの野外ガイドは、学校団体・市民団体等に限定させていただきます。

住所 〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地
電話 0153-25-3047 FAX 0153-25-8570
HP http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html
メール nemu_nc@marimo.or.jp

7・8月の開館時間
9:00～17:00
7・8月の休館日
7月4・11・17・18・25
8月1・8・15・22・29

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター